



としょかん 図書館だより

長子配付

四十万小学校図書館 令和6年12月号

クリスマスの本

図書館のいろいろなところに、クリスマスの本がたくさんあります。ぜひ、読んでみてください。



もうすぐ、新しい年がやってきます。辰年からへび年にかわることにちなんで、今日は、龍（ドラゴン）とへびが出てくる本をしょうかいします。どれも図書館にあるので、ぜひ読んでみてください。

《1・2年生におすすめの本》



りゅうのめのなみだ
(浜田 広介 文)

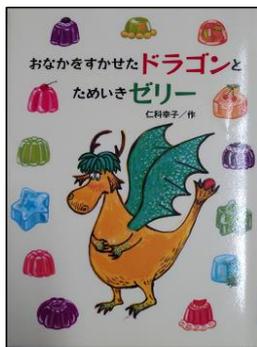
どこかのまちにすむこどもが、ひとびとがおそれる、やまのりゅうにあいにいき、やさしいことばをかけました。りゅうは、それをきいて、どうおもったでしょうか？



へびのクリクター
(トミー・ウンゲラー 作)

ルイーザ・ボドさんは、へびのクリクターを、たいせつにそだてていました。あるばん、ボドさんのいえに、どろぼうがやってきました。さあ、どうなる？

《3・4年生におすすめの本》



おなかをすかせたドラゴンとためいきゼリー
(仁科 幸子 作)

黒ネコは、町のネコたちの「ためいき」を集めて作ったゼリーを友達ドラゴンに食べさせて、ハッピーなエネルギーを作っていましたが、だんだん、町のネコ達の様子がおかしくなっていました。



へびと船長

(ふしみみさを 文)

船長が、海辺にすむへびのいうとおり、がんじょうな船で12人の船のりと共に旅に出て、港に着くと、へびは、丘の上のおばあさんの家から、あるものを取って来るように言いました。

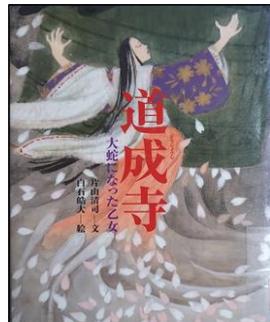
《5・6年生におすすめの本》



りゅう
龍

(今江 祥智 文)

沼に住む龍の子三太郎は、いつも沼の底にすんで、めったに姿をあらわさなかったのですが、ある日、村人に見つかってから、たくさんの人が、三太郎を見るために、沼へやって来るようになってしまいました。



どうじょうじ
道成寺

大蛇になった乙女
(片山 清司 文)

道成寺の鐘が新しく作られた日、「女人禁制」だった寺に、美しい女の人が、白拍子の舞を奉納したいと言ってやって来ました。舞が始まると、やがて、大変な出来事がおこってしまいました。